

大阪市会議長 ホンダ リエ 様

2020年 月 日

大阪市を廃止する「協定書」の採決を止め、コロナ対策に全力を！

【陳情趣旨】

新型コロナウイルス感染の第二波が必ずあると予測され、市民の暮らしと営業が大変な危機となっています。大阪市が緊急に取り組むべきは保健所・病院・検査所など医療・防疫体制の強化であり、PCR検査数の拡大です。また、市民や事業者への生活及び営業への支援を行うことです。

このような時に、大阪市を廃止・解体し「特別区」を設置する作業は不要不急であり直ちに中止すべきです。「出前協議会」が中止され、市民への説明が極めて不十分な状況で、しかも、コロナ禍以前に作成された「協定書案」のままで、「住民投票」を強行することは許されません。

「住民投票」には32億円（前回）を使い、「特別区」設置の際には初期コストが241億円も必要とします。このような費用こそコロナ対策に回すべきです。

私たちは、住民のいのちと暮らしを守ることが第一の使命である大阪市が、本来の役割を果たすために、いま緊急にとりくむべき課題について下記のとおり陳情いたします。

【陳情項目】

1. 大阪市を廃止する「協定書」の採決や「住民投票」を行わないこと。
2. 新型コロナウイルス感染拡大防止と支援対策に全力を挙げること。

氏 名	住 所

取扱団体・個人
